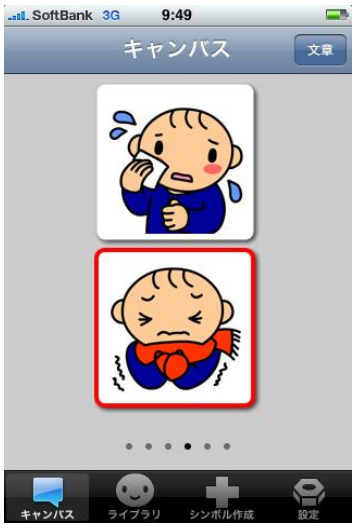
＜ｉＰｈｏｎｅでＶＯＣＡのご紹介　～DropTalk～＞



iPhone はタッチパネルを用いた操作性の良さや、ソフトウェア開発の容易さから、ＡＡＣツールとしての可能性に注目が集まっています。今回は、その iPhone 用ソフトの中のいくつかある AAC ツールの中から「DropTalk」をご紹介します。

DropTalk は、iPhone の操作性を生かした高機能で使いやすい VOCA になっています。しかも、これまでの障がい者向け支援機器の常識をくつがえす 1,500 円という低価格です。

※DropTalk の主な特長は以下のとおりです。

・iPhone および iPod touch 対応です。DropTalk をダウンロードするだけで、すぐに VOCA として使えます。

・Drops 基本語彙 313 語と、それに対応した高品位 音声データがあらかじめ内蔵されています。

・iPhone の内蔵カメラとマイクを使えば、iPhone 単体で新規シンボルが追加可能です。iPod touch でも、コンピュータと接続することでシンボルの追加が簡単にできます。

・画面上に配置するシンボル数が 1～9 個の範囲で変更できるので、ユーザに合わせた細かいカスタマイズができます。

・シンボルは、単語ごとの発声だけでなく、最大５語まで組み合わせた「文章モード」で発声させることもできます。

DROPLET PROJECT（http://droplet.ddo.jp/）より一部抜粋

エンパワメント研究所から「視覚シンボルで楽々コミュニケーション 障害者の暮らしに役立つシンボル 1000」という本も販売されています。

紹介者：学芸部情報担当
太田　宣博